

## 学校評価アンケート考察

### 自己有用感について

全国学力学習状況調査の生徒質問紙に「自己有用感について」の項目が4つある。

- ・私は、自分には良いところがあると思う。
- ・先生は、あなたの良いところを認めてくれていると思う。
- ・私は将来の夢や希望を持っている。
- ・私は、人の役に立つ人間になりたいと思う。

京都市の中学生は、この「自己有用感」が全国に比べて低いという結果が出ており、左京区の南地域も同様であるという結果が昨年度の全国学力学習状況調査結果から読み取れた。今年度の近衛中学の学校評価アンケートに同じ項目を設け、昨年度の全国の数値を比較してみた結果が以下である。（%は「よく出来ている」「大体出来ている」の合計）

- ・私は、自分には良いところがあると思う。（近衛：72.9%・全国：74.1%）
- ・先生は、あなたの良いところを認めてくれていると思う。（近衛：86.8%・全国：81.5%）
- ・私は将来の夢や希望を持っている。（近衛：78.1%・全国：70.5%）
- ・私は、人の役に立つ人間になりたいと思う。（近衛：96.2%・全国：94.3%）

近衛中学の生徒は概ね、全国平均を上回っているが、「私は、自分には良いところがあると思う。」については、今後の課題であると思われる。

### 地域との関わりについて

昨年度、地域の教育的資源を活用する取組をたくさん取り入れた。学校運営協議会の協力を得、京都大学教授を招いたパネルディスカッション。左京ふれあいトーク。左京包括センターによる「認知症学習会」、京都大学理学研究室による出前授業。今年度、コロナ禍により、中止せざるを得なかった。したがってアンケートの「私は、今住んでいる地域の行事に参加したり、人や施設と交流している」という項目については生徒、保護者とも昨年度に比べ低い数値になっている。来年度もコロナ禍の状況は劇的に改善することはないが、学校運営協議会の意見をお聞きする中で、地域と学校とのつながりを考えていきたい。